



## Session Manager の設定

---

この章では、Cisco NX-OS デバイスで Session Manager を設定する方法について説明します。

この章の内容は、次のとおりです。

- [Session Manager について, 1 ページ](#)
- [Session Manager のライセンス要件, 2 ページ](#)
- [Session Manager の前提条件, 2 ページ](#)
- [Session Manager の注意事項および制約事項, 2 ページ](#)
- [Session Manager の設定, 3 ページ](#)
- [Session Manager 設定の確認, 6 ページ](#)
- [Session Manager のコンフィギュレーション例, 6 ページ](#)
- [その他の参考資料, 7 ページ](#)

## Session Manager について

Session Manager を使用すると、設定変更をバッチ モードで実行できます。Session Manager は次のフェーズで機能します。

- **コンフィギュレーションセッション**：Session Manager モードで実行するコマンドのリストを作成します。
- **検証**：設定の基本的なセマンティック チェックを行います。Cisco NX-OS は、設定の一部でセマンティクス検査が失敗した場合にエラーを返します。
- **検証**：既存のハードウェア設定、ソフトウェア設定、およびリソースに基づいて、設定全体を確認します。Cisco NX-OS は、設定がこの確認フェーズで合格しなかった場合にエラーを返します。
- **コミット**：Cisco NX-OS はコンフィギュレーション全体を確認して、デバイスに対する変更を実行します。障害が発生した場合、Cisco NX-OS は元の設定に戻ります。

- 打ち切り：設定変更を実行しないで廃棄します。

任意で、変更をコミットしないでコンフィギュレーションセッションを終了できます。また、コンフィギュレーションセッションを保存することもできます。

## ハイアベイラビリティ

Session Manager セッションは、スーパーバイザのスイッチオーバー後も引き続き使用できます。セッションはソフトウェアリロード後までは維持されません。

## Session Manager のライセンス要件

製品	ライセンス要件
Cisco NX-OS	Session Manager にライセンスは不要です。ライセンスパッケージに含まれていない機能は nx-os イメージにバンドルされており、無料で提供されます。Cisco NX-OS ライセンス方式の詳細については、『Cisco NX-OS Licensing Guide』を参照してください。

## Session Manager の前提条件

使用する予定の Session Manager コマンドをサポートする権限があることを確認してください。

## Session Manager の注意事項および制約事項

Session Manager には、次の注意事項および制約事項があります。

- Session Manager は、アクセスコントロールリスト (ACL) および Quality of Service (QoS) 機能だけをサポートします。
- 作成できるコンフィギュレーションセッションの最大数は 32 です。
- すべてのセッションで設定できるコマンドの最大数は 20,000 です。
- 複数のコンフィギュレーションセッションまたはコンフィギュレーションターミナルモードで、コンフィギュレーションコマンドを同時に実行することはできません。パラレルコンフィギュレーション (1つのコンフィギュレーションセッションと1つのコンフィギュレーションターミナルのようなもの) は、コンフィギュレーションセッションで確認または検証が失敗する原因になることがあります。
- コンフィギュレーションセッションであるインターフェイスを設定中に、そのインターフェイスをリロードすると、そのときにインターフェイスがデバイス上になくても Session Manager コマンドを受け取ることができます。

# Session Manager の設定



(注) Cisco NX-OS コマンドは Cisco IOS コマンドと異なる場合がありますので注意してください。

## セッションの作成

作成できるコンフィギュレーションセッションの最大数は 32 です。

### 手順の概要

1. **configure sessionname**
2. (任意) **show configuration session [name]**
3. (任意) **savelocation**

### 手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	<b>configure sessionname</b>  例 : <pre>switch# configure session myACLs switch(config-s)#</pre>	コンフィギュレーションセッションを作成し、セッションコンフィギュレーションモードを開始します。名前は任意の英数字ストリングです。  セッションの内容を表示します。
ステップ 2	<b>show configuration session [name]</b>  例 : <pre>switch(config-s)# show configuration session myACLs</pre>	(任意) セッションの内容を表示します。
ステップ 3	<b>savelocation</b>  例 : <pre>switch(config-s)# save bootflash:sessions/myACLs</pre>	(任意) セッションをファイルに保存します。保管場所には bootflash:、slot0:、または volatile: を指定できます。

## セッションでの ACL の設定

コンフィギュレーションセッションで ACL を設定できます。

## 手順の概要

1. **configure sessionname**
2. **ip access-listname**
3. (任意) **permitprotocol source destination**
4. **interfaceinterface-type number**
5. **ip access-groupname {in | out}**
6. (任意) **show configuration session [name]**

## 手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	<b>configure sessionname</b>  例： switch# configure session myacls switch(config-s)#	コンフィギュレーションセッションを作成し、セッションコンフィギュレーションモードを開始します。名前は任意の英数字ストリングです。
ステップ 2	<b>ip access-listname</b>  例： switch(config-s)# ip access-list acl1 switch(config-s-acl)#	ACLを作成し、そのACLのコンフィギュレーションモードを開始します。
ステップ 3	<b>permitprotocol source destination</b>  例： switch(config-s-acl)# permit tcp any any	(任意) ACLに許可文を追加します。
ステップ 4	<b>interfaceinterface-type number</b>  例： switch(config-s-acl)# interface ethernet 2/1 switch(config-s-if)#	インターフェイスコンフィギュレーションモードを開始します。
ステップ 5	<b>ip access-groupname {in   out}</b>  例： switch(config-s-if)# ip access-group acl1 in	アクセスグループを適用するトラフィックの方向を指定します。
ステップ 6	<b>show configuration session [name]</b>  例： switch(config-s-if)# show configuration session myacls	(任意) セッションの内容を表示します。

## セッションの確認

セッションモードで次のコマンドを使用して、セッションを確認します。

コマンド	目的
<b>verify [verbose]</b> 例： <pre>switch(config-s)# verify</pre>	既存のハードウェアおよびソフトウェアのコンフィギュレーションおよびリソースに基づいて、コンフィギュレーション全体を確認します。Cisco NX-OS は、設定がこの確認で合格しなかった場合にエラーを返します。

## セッションのコミット

セッションモードで次のコマンドを使用して、セッションをコミットします。

コマンド	目的
<b>commit [verbose]</b> 例： <pre>switch(config-s)# commit</pre>	現在のセッションで行われたコンフィギュレーションの変更を検証し、有効な変更をデバイスに適用します。検証に失敗した場合、Cisco NX-OS は元の設定に戻ります。

## セッションの保存

セッションモードで次のコマンドを使用して、セッションを保存します。

コマンド	目的
<b>savelocation</b> 例： <pre>switch(config-s)# save bootflash:sessions/myACLs</pre>	(任意) セッションをファイルに保存します。保管場所には <code>bootflash:</code> 、 <code>slot0:</code> 、または <code>volatile:</code> を指定できます。

## セッションの廃棄

セッションモードで次のコマンドを使用して、セッションを廃棄します。

コマンド	目的
<b>abort</b> 例： <pre>switch(config-s)# abort switch#</pre>	コマンドを適用しないで、コンフィギュレーションセッションを廃棄します。

## Session Manager 設定の確認

Session Manager のコンフィギュレーション情報を表示するには、次の作業のいずれかを行います。

コマンド	目的
<b>show configuration session [name]</b>	コンフィギュレーションファイルの内容を表示します。
<b>show configuration session status [name]</b>	コンフィギュレーションセッションのステータスを表示します。
<b>show configuration session summary</b>	すべてのコンフィギュレーションセッションのサマリーを表示します。

## Session Manager のコンフィギュレーション例

Session Manager を使用して ACL コンフィギュレーションを作成し、コミットする例を示します。

```
switch# configure session ACL_tcp_in
Config Session started, Session ID is 1
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
switch(config-s)# ip access-list ACL1
switch(config-s-acl)# permit tcp any any
switch(config)# interface e 7/1
switch(config-if)# ip access-group ACL1 in
switch(config-if)# exit
switch(config)# exit
switch# config session ACL_tcp_in
Config Session started, Session ID is 1
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
switch(config-s)# verify
Verification Successful
switch(config-s)# commit
Commit Successful
switch#
```

## その他の参考資料

### 関連資料

関連項目	マニュアル タイトル
コンフィギュレーション ファイル	『Cisco Nexus 9000 Series NX-OS Fundamentals Configuration Guide』

